

「既往疾患と精液所見の関連性についての検討」への御協力をお願い

東京歯科大学市川総合病院では様々な疾患と男性生殖能力の関係性を調べるため患者さんにご協力をいただき、「既往疾患と精液所見の関連性についての検討」の研究を行っております。ご理解・ご協力のほどお願い致します。

研究の目的と意義

現在晩婚化が進み6組に1組のカップルは不妊症と言われ、日本でも不妊治療が広く普及し2022年4月からは保険が適用されます。不妊症の一端は男性側にも起因しますが残念ながら約半数は原因不明で治療に苦慮します。一方精液所見は体調や季節の変動をうけることも知られており、生活習慣を改善させるだけで検査結果が向上することもあります。晩婚化が進んでいるため当院を受診される男性側の平均年齢も上昇しており、それに伴い様々な基礎疾患を抱えている方に遭遇します。そこで患者さんのデータを網羅的に集め、まずどのような病気や薬剤が男性の生殖能力の関連するのかわかると調べていきます。そして各疾患が精液所見に及ぼす影響を調べ、さらには罹っている病気の治療の状態によって精液所見が変化するかどうかを検討します。

研究の対象となる方

リプロダクションセンター外来を2002年から2022年5月までに受診された男性のかたが対象となります。研究の対象となることについてご了承いただけない場合は対象とはいたしませんので、お申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究の方法について

過去リプロダクションセンターを受診された方について、カルテ上の情報を集計します。具体的には年齢や基礎疾患の有無、精液所見、生殖に関連した血液中のホルモン値などについてです。

カルテ上の情報を集計するため患者様への身体的な負担は生じません。

個人情報の取り扱いについて

患者さんのデータは対象者が特定できる情報を削除して取り扱います。この研究の成果を発表する場合にも研究対象者が特定できる情報を使用することはありません。この研究において得られた研究対象者の情報はこの研究のために使用し、研究終了後は5年間保存した後、誰のものかわからない状態で情報を破棄します。

なお得られた研究成果は、患者氏名等の個人情報が明らかにならないようにした上で、学会発表、学術雑誌、データベース上で公に発表されることがありすでに公表後の場合は情報の破棄が難しい場合があることをご了承ください。

あなたをご希望される場合は、研究計画書を開示いたします。

利益相反について

研究遂行にあたって特別な利益相反状態にはありません

倫理審査委員会の承認

この研究は東京歯科大学市川総合病院倫理審査委員会の審査承認および病院長の許可を得て実施しております

研究の問い合わせ先

本研究の当院の研究代表者の氏名ならびに連絡先は以下の通りです。

当院責任者：東京歯科大学市川総合病院泌尿器科、リプロダクションセンター
講師 萩生田 純

住所：〒272-8513 千葉県市川市菅野 5-11-13

電話：047-322-0151